

平成 23 年 12 月 27 日

報道機関 各位

日本子ども家庭総合研究所
東日本大震災 中央子ども支援センター
センター長 五十嵐 隆
日本子ども家庭総合研究所
所長 柳澤 正義

東日本大震災の報道に係るご配慮について（要請）

日頃より、報道に携わる皆さまのご活動に厚くお礼申し上げます。大震災を風化させないためにも、また国民全体が被災地の復興を支援するためにも、正しい報道は大変に重要です。

しかしながら、現在、被災により厳しい生活を余儀なくされている子どもの中に、明らかに外傷後ストレス障害（PTSD）を有する子どもが増えています。また、一見元気そうな子どもであっても、こころの問題を抱えていることが少なくありません。

今後年末年始および来年 3 月 11 日を中心に震災関連の報道が増加することが予想されますが、それらの報道に用いられる映像によって子どもに大震災の記憶が呼び覚まされ、身体症状や精神症状が出現し、PTSD が悪化することが懸念されます。また、被災地の子どもの取材により、同様の障害が生じる危険性があります。子どもがテレビを視聴する時間帯での東日本大震災の報道や被災した子どもへの取材について、以下の様なご配慮をお願いいたします。

1. 報道の際に津波の被害映像を繰り返し放映しない工夫をお願いします。特に、子どもがテレビを視聴する平日の午前 6 時から午前 10 時頃まで、午後 3 時から午後 9 時頃までの時間帯、さらに休日、および年末年始の午前 6 時から午後 9 時頃までの時間帯につきまして、格段のご配慮をお願いいたします。加えて、親御さんへの注意喚起として、映像により悪影響を受けるお子さんがおられることを伝える工夫をしていただけますよう、お願いいたします。
2. 被災地の子どもの取材の際には、子どものこころを刺激しないような配慮をお願いいたします。

尚、参考までに当センター協議会の構成メンバーである日本小児神経学会も専門学会の立場から同様の緊急アピールを行っておりますので、ご覧いただけますと幸いです。

(URL : <http://child-neuro-jp.org/visitor/iken2/20110325.html>)

お問合せ：
〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8
日本子ども家庭総合研究所
東日本大震災中央子ども支援センター事務局
有村／永野／白子
E-mail: info@kodomokatei.info
TEL:03-3473-8347 / 070-5578-0978
FAX:03-6745-9554